

未来へはばたけ



令和8年1月7日
おおたかの森小学校
学校便り1月号

人間万事塞翁が馬

校長 北野 美紀

2026年、新しい年が始まりました。

今年は午年（うまどし）です。午は成長や成功・繁栄のシンボルとして、縁起がよいものとされています。また、今年の干支は60年に一度巡ってくる「丙午（ひのえ・うま）」です。「丙」は、植物の生長にたとえると、「芽が成長し、葉が広がり、成長が著しい状態」を意味するそうです。

午年にちなみ、「うま」がつくことわざに、「人間万事塞翁が馬」があります。昔中国の塞翁という人が飼っていた馬が逃げたため、人々が慰めに行くと、塞翁は「このことが幸いを呼ぶかもしれない」と悲しむ様子はありませんでした。その後、逃げた馬が別の立派な馬を伴って戻ってきたということです。人の幸・不幸を予測することはできません。また、一見不幸に見える出来事が後に幸運につながったり、逆に幸運の前兆かと思われたのに予想外の試練に見舞われたりすることもあります。

一見無駄に思えるような事でも、苦手な事でも、長期的には全てが幸運につながると信じて、目の前の出来事に一喜一憂することなく、笑顔で元気に充実した1年となるよう、子ども達を支援していきたいと考えています。今年もどうぞよろしくお願いします。

<体験学習にお力を貸して下さった皆様、ありがとうございました！>

保護者や地域の方、民間企業の方等、外部人材を活用した体験的な学習が充実した12月でした。

1年生は、生活科「ばかばか交流会」において、地区社協の方にお力を借り、地域の方々と交流しました。2年生は、流山郵便局の方からの出前授業を実施し、郵便の仕組みについて学びました。3年生は、地域企業の農場の方から薫を提供していただき、専門家から教わったしめ縄作りの実施、博物館の方から、本物の土器に触れる出前事業を行いました。4年生は、総合的な学習の一環として、グリーンバードの方とのゴミ拾い活動から発展したポスター作成の実施、廃棄花を活用した活動を行っている方より教えていただいた、ロスフラワーアート作品作りを実施しました。5年生は、NHK「おかあさんといっしょ」11代目体操のお兄さんである小林よしひささんが長官を務める遊び庁の方より、多種多様なじゃんけんに始まり、遊び感覚の体験の中で様々な事を学びました。6年生は、(社)たよなん×ソニー教育財団（協賛）のお力を借り、「夢のゲーム機をつくろう」の活動を実施し、グループごとにオリジナルのゲーム機を考えました。また、同じ活動を行っている埼玉県新座市と長野県諏訪市の小学生と、オンラインでの交流会も行いました。

体験してみて初めてわかることや感じる事、これが「生きた学び」となります。うまくいかなかったり失敗しそうになったりすることがあっても、自分たちで話し合い、協力し合い解決していく力が、これからの時代に求められている「生きる力」となります。今年も、子ども達の「やってみよう！」を大切にしながら、教育活動を進めていきたいと考えています。保護者の皆様にも、子ども達の成長を支え見守る「サポーター」として、今後も、ご理解ご協力をお願いします。